

1人世帯の増加が進む

～平成22年 住民基本台帳に基づく人口～

今号の特集では、福岡市における平成22年9月末現在の住民基本台帳に基づく人口及び平成22年の人口動態の状況をご紹介します。

1世帯当たり人員は2.09人で、前年比0.02人の減少となりました。

人口、世帯数ともに、毎年増加していますが、人口の伸びを世帯数の伸びが上回っているため、1世帯当たり人員は減少が続いています。(表1, 図1)

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

人口、世帯数ともに増加

1世帯あたり人員数の減少続く

住民基本台帳に基づく平成22年9月末現在の福岡市の人口は1,404,525人で、前年(平成21年9月末現在)に比べ10,508人増加し、増加率は0.8%となっています。

世帯数は671,525世帯で、前年に比べ9,485世帯の増加、増加率1.4%となっており、人口の増加率を上回っています。

性別に見ると、男性は667,402人で、前年比5,226人の増加(増加率0.8%)、女性は737,123人で、前年比5,282人の増加(同0.7%)となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は90.5で、年々下降が続いていましたが、平成20年から3年連続で同じ割合となっています。

「住民基本台帳に基づく人口」とは…

「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したもので、外国人登録人口を含みません。

図1 人口及び1世帯当たり人員の推移

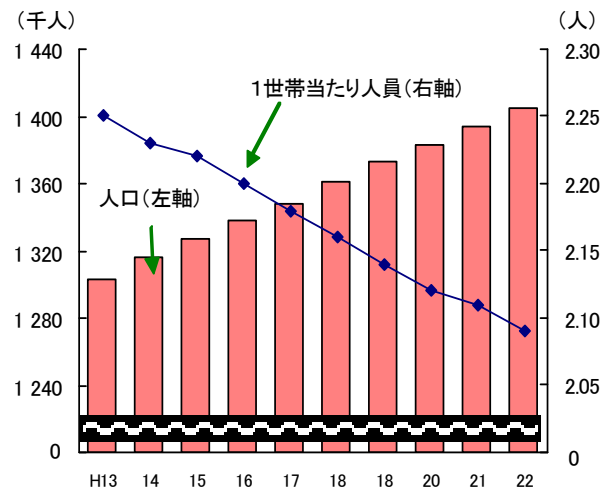


表1 世帯数, 人口等の推移

年	世帯数		人口		男	女	性比	1世帯当たり人員
	前年増加率	人口	前年増加率	人口				
平成13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	92.0	2.25
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	91.8	2.23
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	91.7	2.22
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	91.5	2.20
17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	91.2	2.18
18年	630 866	2.1	1 361 060	1.0	648 387	712 673	91.0	2.16
19年	642 514	1.8	1 372 840	0.9	652 935	719 905	90.7	2.14
20年	652 282	1.5	1 382 563	0.7	656 798	725 765	90.5	2.12
21年	662 040	1.5	1 394 017	0.8	662 176	731 841	90.5	2.11
平成22年	671 525	1.4	1 404 525	0.8	667 402	737 123	90.5	2.09

(2) 行政区別人口

10,508人増加, 約6割が東区と博多区

行政区別に見ると、人口は、東区の279,121人が最も多く、次いで南区243,832人、早良区209,681人の順になっており、世帯数は、東区の127,415世帯が最も多く、次いで南区113,143世帯、博多区109,472世帯の順になっています。人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

平成21年に比べ、世帯数は全ての区で増加していますが、人口は城南区のみ僅かに減少しています。

人口の増加は東区と博多区に集中しており、2つ区の人口増加の計5,953人は福岡市全体増加分の約57%となっています。

性比を見ると、中央区が79.1と特に女性の割合が高くなっているのに対し、博多区(95.3)と東区(94.8)は他の区に比べて男性の割合が高くなっています。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.38人で、以下、早良区の2.28人、東区の2.19人と続き、都心部に位置する中央区(1.76人)と博多区(1.79人)は、福

岡市全体の2.09人を下回っています。(表2)

(3) 年齢別人口

老年人口の伸びが大きく、高齢化進む

年齢区分別の構成比を見ると、福岡市全体の0～14歳の「年少人口」は14.0%で、5年連続同じ割合となっています。

15～64歳の「生産年齢人口」は68.5%で前年と比べ0.3ポイント減少し、65歳以上の「老年人口」は17.5%で前年と比べ0.3ポイント増加しています。

いずれの年齢区分でも前年と比べると人口数は増加していますが、老年人口の構成比が伸びており高齢化が進んでいることが分かります。

行政区別に見ると、年少人口の割合が高いのは、西区、早良区、東区の順で、老年人口の割合が高いのは、城南区、西区、南区の順となっています。

博多区と中央区は生産年齢人口の割合が高く、年少人口と老年人口の割合が他の区に比べて低くなっています。(表3)

表2 行政区別世帯数及び人口

各年9月末現在

市区	平成21年		平成22年						増減			
	世帯数	人口	世帯数	人口	男	女	性比	1世帯当たり人員	世帯数	前年比	人口	前年比
	世帯	人	世帯	人	人	人		人	世帯	%	人	%
福岡市	662 040	1 394 017	671 525	1 404 525	667 402	737 123	90.5	2.09	9 485	1.4	10 508	0.8
東区	125 028	275 663	127 415	279 121	135 837	143 284	94.8	2.19	2 387	1.9	3 458	1.3
博多区	107 365	193 961	109 472	196 456	95 869	100 587	95.3	1.79	2 107	2.0	2 495	1.3
中央区	92 121	162 892	93 407	164 489	72 658	91 831	79.1	1.76	1 286	1.4	1 597	1.0
南区	111 976	243 213	113 143	243 832	114 855	128 977	89.1	2.16	1 167	1.0	619	0.3
城南区	56 102	121 125	56 238	120 970	57 643	63 327	91.0	2.15	136	0.2	△ 155	△ 0.1
早良区	91 032	209 505	91 909	209 681	99 722	109 959	90.7	2.28	877	1.0	176	0.1
西区	78 416	187 658	79 941	189 976	90 818	99 158	91.6	2.38	1 525	1.9	2 318	1.2

表3 年齢別(3区分)人口

平成22年9月末現在

区分	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総数	1 404 525	279 121	196 456	164 489	243 832	120 970	209 681	189 976
0～14歳	196 457	41 565	23 731	18 403	34 042	16 654	31 705	30 357
15～64歳	962 620	189 141	141 385	119 791	165 110	81 697	140 728	124 768
65歳以上	245 448	48 415	31 340	26 295	44 680	22 619	37 248	34 851
構成比(%)								
0～14歳	14.0	14.9	12.1	11.2	14.0	13.8	15.1	16.0
15～64歳	68.5	67.8	72.0	72.8	67.7	67.5	67.1	65.7
65歳以上	17.5	17.3	16.0	16.0	18.3	18.7	17.8	18.3

(4) 世帯員数別世帯数

全区で1人世帯の増、3人以上世帯の減

世帯員数別世帯数の割合を見ると、1人世帯が45.2%（前年比0.4ポイント増）、2人世帯は昨年と同じ23.0%、3人以上の世帯は31.8%（前年比0.5ポイント減）となっています。

2人以下の世帯が占める割合は68.2%となり、前年と比べて0.5ポイント増加しています。

行政区別に見ると、早良区と西区を除く全ての区で、1人世帯の割合が最も高く4割を超えています。また、全ての区で、前年と比べて1人世帯の割合が増加し、3人以上世帯の割合は減少しています。

年齢別人口と併せて見ると、他の区に比べて、都心部の博多区と中央区は若い年代の1人世帯が多く、周縁部の西区は、子どもや老人を含めた家族世帯が多いと考えられます。（表4、図2）

(5) 小学校区別人口

周船寺校区の人口増加が第1位

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは平尾校区（中央区）の20,985人で、以下、那珂校区（博多区）19,628人、博多校区（博多区）18,689人、香住丘校区（東区）17,012人、松島校区（東区）16,814人と続き、前年と同じ順となっています。

人口が最も少ないのは、曲渕校区（早良区）の202人で、次いで小呂校区（西区）210人、勝馬校区（東区）290人となっています。人口増加数が一番多いのは、周船寺校区（西区）の637人増で、照葉校区（東区）585人増、博多校区（博多区）533人増が続いています。

世帯数は、多い順に博多校区（博多区）12,505世帯、平尾校区（中央区）11,500世帯、警固校区（中央区）9,776世帯、那珂校区（博多区）9,575世帯、春吉校区（中央区）8,487世帯となっています。（表5）

図2 世帯員数別世帯数

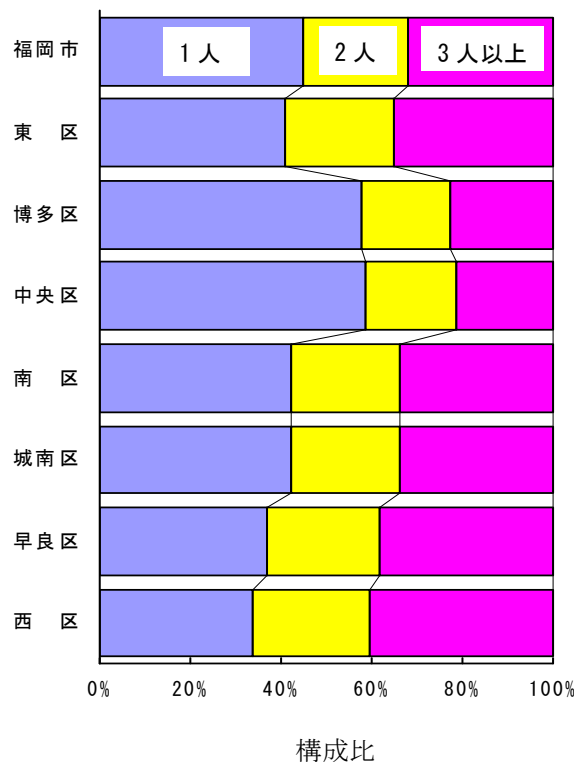


表4 世帯員数別世帯数

平成22年9月末現在

市区	総数	世帯人員別世帯数							構成比 (%)		
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	1人	2人	3人以上
福岡市	671 525	303 284	154 533	101 752	81 182	24 567	4 654	1 553	45.2	23.0	31.8
東区	127 415	52 349	30 466	20 864	17 126	5 288	1 031	291	41.1	23.9	35.0
博多区	109 472	63 594	21 199	12 527	8 846	2 631	485	190	58.1	19.4	22.5
中央区	93 407	54 754	18 573	10 567	7 234	1 857	322	100	58.6	19.9	21.5
南区	113 143	47 669	27 285	18 066	14 583	4 509	783	248	42.1	24.1	33.8
城南区	56 238	23 800	13 409	9 001	7 350	2 233	359	86	42.3	23.8	33.8
早良区	91 909	34 043	22 957	16 269	13 613	4 015	770	242	37.0	25.0	38.0
西区	79 941	27 075	20 644	14 458	12 430	4 034	904	396	33.9	25.8	40.3

表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成22年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口					
福岡市合計	671 525	1 404 525	春吉	8 487	11 255	原西	4 895	11 055					
東区	127 415	279 121	草ヶ江	7 186	13 746	原北	3 064	7 559					
			平尾	11 500	20 985	飯倉	4 438	9 887					
			高宮	7 329	10 998	賀茂	4 523	9 936					
			馬出	5 920	9 698	赤坂	5 952	10 573	有田	4 511	10 742		
			筥松	7 088	12 864	南当仁	8 106	15 293	野芥	5 046	11 714		
			箱崎	7 214	12 694	笹丘	5 563	11 849	大原	4 036	8 659		
			香椎	5 033	10 364	舞鶴	4 408	6 745	四箇田	3 504	8 395		
			多々良	6 397	13 628	小笹	6 252	14 583	飯原	2 916	6 900		
			名島	6 499	15 046	福浜	2 770	5 628	有住	2 479	4 935		
			香住丘	8 230	17 012	鳥飼 *	317	699	田村	4 096	9 820		
			和白	4 826	11 269	南区	113 143	243 832	飯倉中央	2 322	5 448		
			千早	3 391	7 684				小田部	3 452	9 217		
			城浜	2 279	3 927				三宅	7 841	15 705		
			若宮	4 374	9 771				花畑	3 933	9 421		
			勝馬	110	290				玉川	8 130	14 766		
			志賀島	733	1 749				西高宮	7 644	16 170		
			西戸崎	2 624	6 014				日佐	2 866	6 868		
			美和台	6 529	15 719				宮竹 *	6 137	12 218		
			八田	3 040	7 129				大楠	6 223	9 435		
			和白東	5 239	12 299				若久	4 931	10 962	西区	79 941
			舞松原	4 229	10 314	老司	3 719	8 734	姪浜	6 159	13 517		
			香椎東	5 600	13 695	長住	3 580	8 403	壱岐	6 119	15 992		
			青葉	4 598	12 430	筑紫丘	4 301	9 071	能古	361	790		
			奈多	3 957	9 142	西花畑	4 983	11 865	内浜	6 765	13 866		
			香椎浜	2 400	5 475	弥永	3 126	6 755	金武	1 772	5 116		
			香椎下原	6 097	12 967	東花畑	4 066	9 271	下山門	3 909	9 397		
			千早西	3 079	7 010	長丘	4 180	10 788	壱岐南	4 068	10 202		
			東箱崎	3 150	6 723	西長住 *	1 770	3 996	西陵	2 584	5 484		
			香陵	1 755	4 688	弥永西	3 548	8 403	壱岐東	2 236	4 848		
			松島	8 097	16 814	東若久	3 344	7 671	石丸	4 716	11 701		
			三苦	3 645	8 937	鶴田	3 015	7 515	愛宕	5 609	12 445		
			照葉	1 282	3 769	野多目	4 713	11 709	福重	3 590	8 192		
博多区	109 472	196 456	高木	4 302	8 166	城原	3 236	7 931					
			博多	12 505	18 689	大池	3 634	8 257	愛宕浜	2 599	7 220		
			住吉	5 364	7 331	塩原	5 971	10 648	姪北	4 825	9 851		
			堅粕	6 535	9 307	柏原	3 607	9 370	今宿	4 992	12 013		
			千代	6 457	9 328	横手	3 579	7 665	今津	1 456	3 147		
			吉塚	5 395	9 789	城南区	56 238	120 970	周船寺	5 567	13 827		
			東住吉	5 699	7 872				元岡	4 299	11 138		
			席田	2 801	6 174				北崎	913	2 710		
			月隈	3 776	8 159				玄界	230	555		
			春住	5 364	8 602				鳥飼 *	4 139	9 344		
			板付	6 733	14 455	別府	7 610	15 447	小呂	65	210		
			那珂	9 575	19 628	七隈	6 076	12 450	玄洋	3 871	9 824		
			那珂南	6 789	12 819	堤	4 341	10 374	複数区にまたがる小学校区の合算				
			東光	4 556	7 516	城南	6 343	13 964	宮竹【合算】	7 808	16 019		
			東吉塚	5 576	10 253	金山	3 801	7 363	西長住【合算】	2 597	5 976		
美野島	5 968	9 833	片江	5 776	11 772	鳥飼【合算】	4 456	10 043					
板付北	3 382	7 516	南片江	3 703	8 583								
東月隈	3 558	8 471	田島	4 880	10 724								
三筑	5 694	12 111	堤丘	2 798	5 956								
弥生	2 074	4 802	早良区	91 909	209 681								
宮竹 *	1 671	3 801				西新	7 474	15 326					
中央区	93 407	164 489				原	4 534	10 314					
						大名	3 017	4 304	高取	7 634	15 527		
						当仁	7 472	13 859	百道	3 260	7 342		
			簗子	5 272	8 010	田隈	3 481	7 664					
			警固	9 776	15 962	室見	4 826	10 588					

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

2. 人口動態

(1) 自然動態

出生数増加するも、自然増加数は減少

平成22年（1～12月）の自然動態（出生と死亡の数）は、出生数14,506人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）10.33‰（パーミル）、死亡数10,158人、死亡率（同死亡数）7.23‰で、自然増加数は両者の差4,348人、自然増加率（同自然増加数）は3.10‰となっています。

平成21年と比較すると、出生数は前年より299人増加し（前年比2.1%増）、5年連続で増加となった一方、死亡数も前年より817人増加したため（前年比8.7%増）、自然増加数は平成21年より518人減少（前年比△10.6%）となりました。

行政区別に見ると、東区が出生数、死亡数ともに最も多く、自然増加数も1,043人と（前年比6.0%増）5年連続で増加しています。

また、東区と中央区以外の区で、出生数の増加を死亡数の増加が上回り自然増加数が前年と比べて減少したため、福岡市全体の自然増加数は減少となっています。

（表6・7，図3）

図3 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

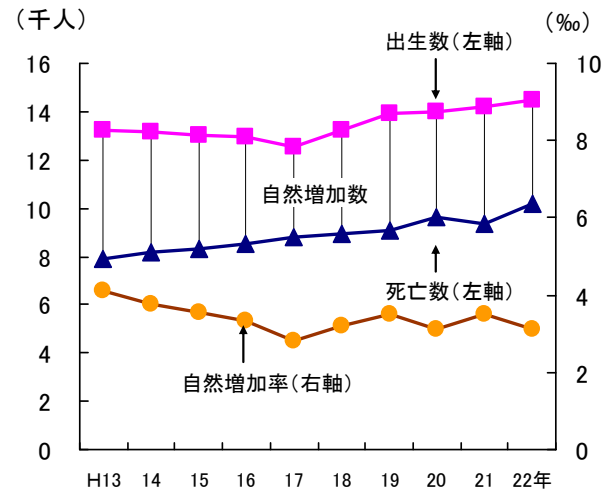


表6 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

年	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加率
	人	人	人	‰
平成13年	5 366	13 243	7 877	4.12
14年	4 959	13 135	8 176	3.77
15年	4 706	13 024	8 318	3.55
16年	4 468	12 978	8 510	3.34
17年	3 780	12 542	8 762	2.8
18年	4 340	13 255	8 915	3.19
19年	4 817	13 921	9 104	3.51
20年	4 323	13 977	9 654	3.13
21年	4 866	14 207	9 341	3.49
平成22年	4 348	14 506	10 158	3.1

表7 自然動態

市区	平成21年			平成22年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	4 866 (3.49)	14 207 (10.19)	9 341 (6.70)	4 348 (3.10)	△ 10.6	14 506 (10.33)	2.1	10 158 (7.23)	8.7
東区	984 (3.57)	2 892 (10.49)	1 908 (6.92)	1 043 (3.74)	6.0	3 075 (11.02)	6.3	2 032 (7.28)	6.5
博多区	840 (4.33)	2 185 (11.27)	1 345 (6.93)	686 (3.49)	△ 18.3	2 145 (10.92)	△ 1.8	1 459 (7.43)	8.5
中央区	523 (3.21)	1 523 (9.35)	1 000 (6.14)	555 (3.37)	6.1	1 644 (9.99)	7.9	1 089 (6.62)	8.9
南区	785 (3.23)	2 406 (9.89)	1 621 (6.66)	616 (2.53)	△ 21.5	2 430 (9.97)	1.0	1 814 (7.44)	11.9
城南区	287 (2.37)	1 097 (9.06)	810 (6.69)	268 (2.22)	△ 6.6	1 174 (9.70)	7.0	906 (7.49)	11.9
早良区	779 (3.72)	2 143 (10.23)	1 364 (6.51)	619 (2.95)	△ 20.5	2 050 (9.78)	△ 4.3	1 431 (6.82)	4.9
西区	668 (3.56)	1 961 (10.45)	1 293 (6.89)	561 (2.95)	△ 16.0	1 988 (10.46)	1.4	1 427 (7.51)	10.4

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

(2) 社会動態（市外移動）

5,199人の増加，都心部に集中

平成22年の社会動態（市外との転出入の数）は，転入者数70,727人，転入率（人口1,000人当たりの転入者数）50.36‰，転出者数65,528人，転出率（同転出者数）46.65‰で，社会増加数は両者の差5,199人，社会増加率（同社会増加数）は3.70‰となっています。

平成21年と比較すると，転入者数は2,135人減少，転出者数は2,267人減少と，共に減少しましたが，転入者と転出者の差である社会増加数は132人増加となっており，転入超過の状態は平成8年以降続いています。

行政区別に見ると，都心部に位置する博多区が，転入者数，転出者数，社会増加数ともに最も多くなっています。一方，南区と城南区は転出者の方が多く，南区は4年連続で社会増加数が減少しています。

各区の人口動態の構成を見ると，特に都心部の博多区，中央区は社会増加数の割合が高くなっていることが分かります。（図4・5，表8）

福岡市の人口の詳細については，福岡市ホームページをご覧ください。

【福岡市の統計情報ホームページ】

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html>

図4 行政区別転入，転出者数

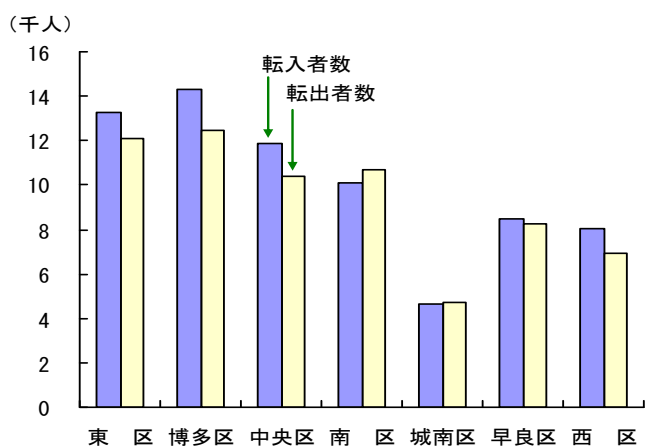


図5 人口動態の構成

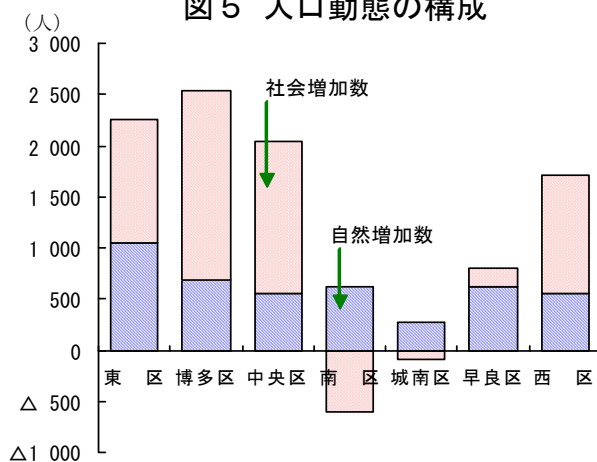


表8 社会動態（市外移動）

市区	平成21年			平成22年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5 067 (3.63)	72 862 (52.27)	67 795 (48.63)	5 199 (3.70)	2.6	70 727 (50.36)	△ 2.9	65 528 (46.65)	△ 3.3
東区	1 008 (3.66)	13 606 (49.36)	12 598 (45.70)	1 219 (4.37)	20.9	13 307 (47.67)	△ 2.2	12 088 (43.31)	△ 4.0
博多区	2 163 (11.15)	14 999 (77.33)	12 836 (66.18)	1 854 (9.44)	△ 14.3	14 323 (72.91)	△ 4.5	12 469 (63.47)	△ 2.9
中央区	1 071 (6.57)	11 516 (70.70)	10 445 (64.12)	1 485 (9.03)	38.7	11 881 (72.23)	3.2	10 396 (63.20)	△ 0.5
南区	△ 309 (△1.27)	11 007 (45.26)	11 316 (46.53)	△ 597 (△2.45)	93.2	10 068 (41.29)	△ 8.5	10 665 (43.74)	△ 5.8
城南区	193 (1.59)	5 018 (41.43)	4 825 (39.83)	△ 97 (△0.80)	△ 150.3	4 637 (38.33)	△ 7.6	4 734 (39.13)	△ 1.9
早良区	222 (1.06)	8 663 (41.35)	8 441 (40.29)	185 (0.88)	△ 16.7	8 462 (40.36)	△ 2.3	8 277 (39.47)	△ 1.9
西区	719 (3.83)	8 053 (42.91)	7 334 (39.08)	1 150 (6.05)	59.9	8 049 (42.37)	△ 0.0	6 899 (36.32)	△ 5.9

注) ()内は，各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数，転入者数，転出者数。